

ALC塗装の注意点 ～下地処理(調整)の施工要領～

■はじめに

ALCの塗装において、下地処理(調整)が十分行われないことが原因で、防水性が問題となる事例が一部で見られます。以下の施工要領をご参照頂き、施工技能者様へご伝達頂きますよう、宜しくお願い致します。

注) 下地処理の方法、手順、塗装具等を本書で拘束するものではありません。他の施工方法とする場合は、本書の主旨をご理解いただき施工品質の確保を主眼とした施工に努めていただくようお願いいたします。

■塗装(下地処理)前の確認事項

塗装前に次の項目について確認後、塗装します。

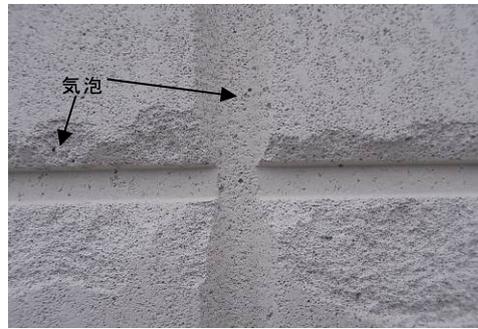
①ALC表面が濡れていないこと。②ALC表面にひび割れ、凹凸部(ネジ部補修不備箇所等)がないこと。③シーリング部分が乾燥・硬化していること。④安全、養生の不備がないこと。

■下地処理(調整)の施工要領と注意点

ALC特有の表面のザラ目や気泡、または小さな凹凸を充填し、パネル表面を平滑に地付けして、上塗材の美観と防水性を確保するため、下地処理(調整)は、以下の要領にて行います。



標準パネル表面ザラ目



デザインパネル(ジーファス)表面の気泡

【標準パネル】

- ① 下地調整材、下塗材をパネルに塗装します。
- ② 5分以内(塗装表面が硬化しない時間)にパネル表面をローラーでしごき作業を行います。1方向のみではなく、縦横2方向行い、ローラー目が目立たないようにします。

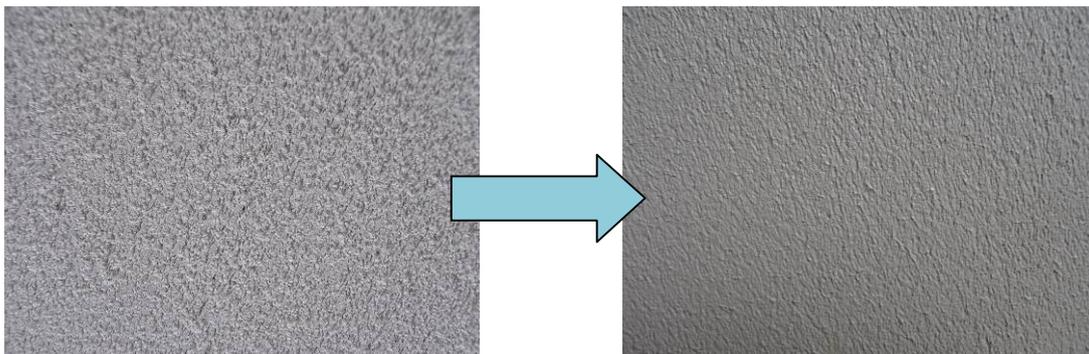


ローラー横方法しごき作業



ローラー縦方向しごき作業

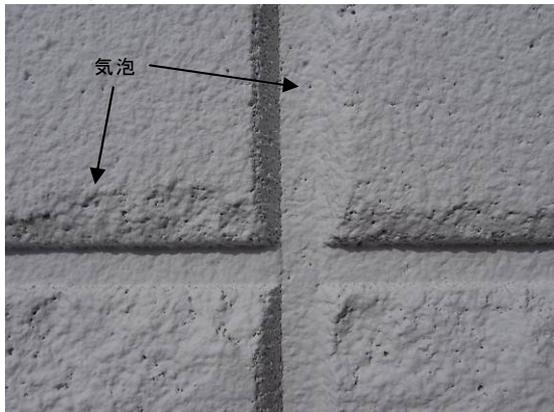
●しごき作業終了後のパネル表面状況



無塗装パネルとしごき後のパネル表面の状態

【デザインパネル】

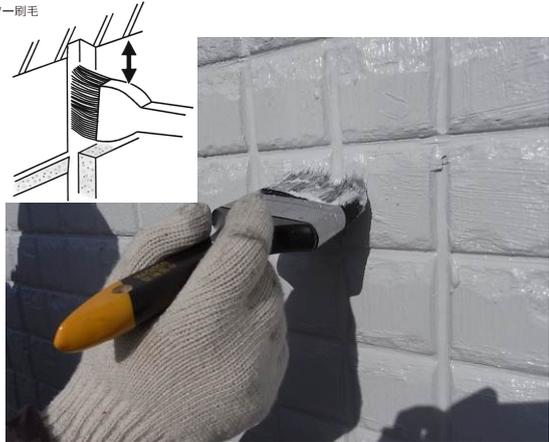
- ① 下地調整材、下塗材をパネルに塗装します。デザインパネルは、はつり部、デザイン溝部に気泡が多く、塗布後も気泡が目立ちます。



塗装後（しごき前）ジーファスパネル。はつり部、目地部に気泡あり。

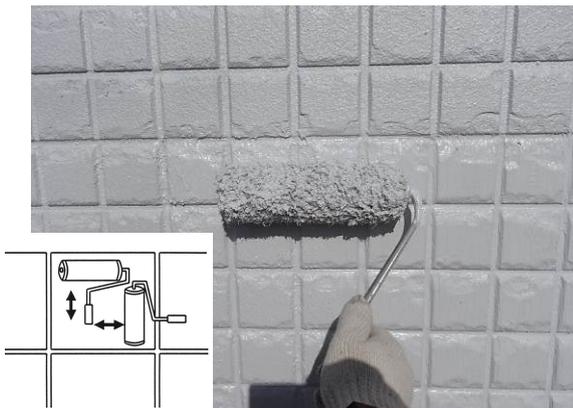
- ② 5分以内（塗装表面が硬化しない時間）にデザイン目地部を刷毛等でしごき作業を行います。

ラスター刷毛



デザイン目地部刷毛しごき作業

- ③ ②で、はみ出した部分とパネル表面をローラーでしごき作業を行います。1方向のみではなく、縦横2方向行き、ローラー目が目立たないようにします。



パネル表面ローラーしごき作業

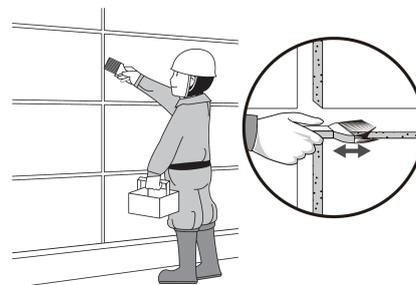
- しごき作業終了後のパネル表面状況



しごき後のジーファスパネル。気泡なし。

【全パネル共通】

- ① シーリング目地部は乾燥が遅く、タレも生じやすいので、塗装後5分以内にラスター刷毛等で下地調整材、下塗材を掃き落とします。



※しごき作業は、下地調整材、下塗材を塗装する場合に行います。

※所要量、その他の作業については、塗料メーカーの施工要領書を参照ください。

旭化成建材株式会社

札幌 011(261)5443

東京 03(3296)3522

仙台 022(223)8171

2013年4月1日

大阪 06(7636)3888

中四国 082(511)5125

福岡 092(526)2105

名古屋 052(212)2251

建材 gallery 東京 0120-787-157

建材 gallery 大阪 0120-297-655